

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ルパン三世に憧れる男（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

飢餓をゼロに

活動の動機

テレビの特集で「賞味期限ギリギリ・切れてしまった物を美味しく食べる方法」という特集の中に「賞味期限の切れてしまったジュースを美味しく飲む方法」というのがあり、SDGsに繋がれると思ったから。



取組・活動実施日

令和3年8月20日から令和3年8月25日

ゴール

9

解決したい地域の課題

賞味期限切れてしまった飲み物などを飲まず、ゴミステーションに捨てているのをよく見る。だから、できる限り飲んで欲しい。

目指す将来の姿

自分の家では、ジュースなどの消費がとても多く、いつも買い物の際沢山買ってしまう。なので、賞味期限がいつの間にか切れてしまっている時があります。そういう時に、いつでも美味しく且つ、手軽に飲めるようにしたい。

活動の内容

賞味期限切れのジュース（今回は抹茶のジュースを使用）を冷凍庫で氷をつくるタッパーに流し込み、冷凍庫に入れて、ブロック状に凍らして、普段、冷たくする時に氷を入れるように、ジュースや牛乳を飲む時に、その氷のブロックを入れて、飲む。（目的は美味しく且つ、手軽に飲めるようにするなので、氷を作るタッパーは、ジュースが凍りやすい一つ一つの穴が小さいタッパーを使用する）

◆ニックネーム・グループ名（人数）

山口晃穂（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 産業を発展させるために出来ること**活動の動機**

バンダイという会社がプラモデルを作った後に残るランナーというのを各地で回収しリサイクルしていると知り自分もそれに参加したり似たようなことをしてみたいと思ったから。

**取組・活動 実施日**

令和3年8月28日から令和3年8月30日

ゴール

9

解決したい地域の課題

地域で出るプラスチックゴミの割合を減らして色々な産業発展に繋げる。

目指す将来の姿

プラスチックゴミの割合を減らすことは産業廃棄物を減らすことにもつながるのでそうすることで色々なものを作っても廃棄物を減らすことで制限なく産業を発展させることができる社会。

活動の内容

バンダイという会社がやっているランナーのリサイクルボックスのある場所が近くに無かったので自分で似たようなことをした。厚紙で型を作ってそこにランナーを入れてヘアアイロンでプレスすることで新しく自分が考えたパーツを作ることができた。今までランナーを捨てていてもったいなかったのでこういう方法でも廃棄物を減らすことができたので良かったです。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋東7組4班 （ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

これからの豊橋市電

活動の動機

学校でこのチャレンジに参加することになった。その中で豊橋には数少ない市電があり、豊橋市民が市電についてどう思っているか、どうしてほしいかなど気になったので調べました。



取組・活動 実施日

令和3年6月下旬から9月末まで

ゴール

8 9 11

解決したい地域の課題

活動してみて、全区間同じ値段であることや市電の範囲についての意見があったことから、短い区間でも乗りやすいよう距離に見合った値段に変えることや、もう少し広い範囲に路線をのばす必要があると思った。

目指す将来の姿

停車駅が少ない、運賃が高いなど、便利性に欠けていることや、乗車中の密を回避出来ないというコロナ禍ならではのことが原因となって市電の利用率が下がってしまっているので、これらを乗り越え、地元の人や観光客など全ての人々にとって、市電が利用しやすいものになってほしいです。

活動の内容

僕たちの班は、この学校の生徒を対象に、アンケート調査を行った。全部で4つの、市電に関する調査をした。1つ目の「市電の使用頻度」は、市電との親近感あるいは内面的な距離を調べました。2つ目の「市電を使って良かったこと」は、市電がもたらす恩恵を調べた。3つ目の「市電を使って困ること」では、市電の現状の課題を調べた。4つ目の「市電への自由な要求」では、今後取り組むべきことを調べた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

農家応援団体（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 豊橋の食材を食べりん！

活動の動機

豊橋市では農家人口がここ20年で半分以上減っているということを知り、農家の皆さんが心を込めて作った野菜や果物を美味しく頂くことで農業に関心を持とうと考えたため。



取組・活動 実施日

令和3年7月19日から令和3年8月30日

ゴール

9 8

解決したい地域の課題

気候もよく、農業産出額でも日本の上位に位置する豊橋で農家人口が年々減少していること。若い人たちが農業に関心を持ったり触れ合う機会が少ないこと。

目指す将来の姿

農業に対する偏見をなくし、農業の魅力を若い人たちが積極的に発信していく未来。地産地消を心がけて、豊橋の農産物の魅力を地域の多くの人に知ってもらいたい。そのために豊橋の特産物を使ったレシピを考案してそれを日常的に使っていくことで、豊橋の農業の活性化につなげていきたい。

活動の内容

夏休み中、1週間に1回豊橋の大葉やうずらの卵などの食材を取り入れて料理をする。これを6週間続ける。それを通して、自分たちの身の回りにも豊橋の特産物が多く使われていることを実感し、自分たちから農業に関心を持つようにする。そして目指す将来の形を自分たちから主体的に豊橋の特産物を味わって周囲に広めていく。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋防衛隊（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 俺らの釣り日記

活動の動機

現在、漁業関連の仕事の後継者不足が問題となっている。私たちのグループは魚が好きな人が多く、実際に釣りをして楽しさを伝えることで、この問題の解決に近づけられるのではないかと思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年8月29日

ゴール

8 9 11

解決したい地域の課題

地元の豊橋は自然豊かで様々な産業があり、農業・漁業ともに活気があるように思える。しかし、実際は若者の農業・漁業離れで後継者がおらず大ピンチである上に、若者たちは農業にも漁業にも興味がない人が多いこと。

目指す将来の姿

若い世代の人に少しずつ豊橋の漁業に興味を持ってもらい、今大きな問題となっている漁業の高齢化、後継者不足を改善したい。そして、未来の世代が憧れる漁業の形を作り、これからもカルシウム豊富、栄養満点のお魚たちを食べ続けられるようにしたい。

活動の内容

豊橋市付近の釣具店へ行き釣竿と餌を買った。また、その店の店長にうまく釣るコツやよく釣れる釣りスポットなどを聞いた。餌がとてもグロかった。その後釣り場へ行き、約4時間かけて釣りをした。その結果4匹のハゼを釣ることができた。初めの1匹を釣るのにはとても苦労したが、2匹目以降はコツを掴み、スムーズに釣ることができた。釣った魚は川に戻した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋東高校2年1組2班（2人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 豊橋市の食品ロスの現状について

活動の動機 外国の子供など、世界にはたくさんの方が飢餓で苦しんでいることを知り、自分たちにも何かできることはないかなと思っただけです。



取組・活動 実施日

令和3年8月23日

ゴール

1 2 9

解決したい地域の課題

僕達は食品ロスを解決しようと選びました。食品ロスは、食品の生産時、加工時、販売時、また飲食時など様々な場面で起こっています。その中でスーパーマーケットやコンビニでの食品ロスについて考えました。

目指す将来の姿

日本を始めとした先進国による食料の廃棄や、過剰な生産をやめ、限られた食品の生産量を有効的に配分することによって、世界中の飢餓の人々が十分な食事をとれる、また、SDGsのゴールになっている飢餓をゼロにや、ひとや、国の差別をなくそうを達成出来る世の中出来るよう日々努力していきたい。

活動の内容

豊橋市内の身近なコンビニやスーパーマーケットなど食品を扱う店舗においての食品ロスの量や割合また食品ロスを減らすために行われている対策についての現状を調べました。そして、得た情報は食品ロスの割合は、約0.32パーセントであり、夏場に多いことが分かりました。また、そのデータをもとに、仕入れ料を調節するなど対策を行っていることが分かりました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チーム三宅（5人）

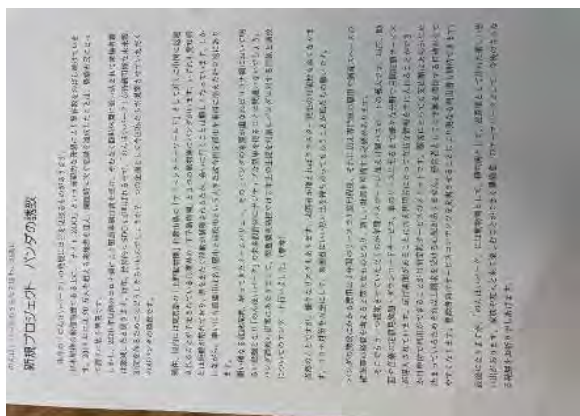
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル パンダの来園と街の賑わい

活動の動機

頃中により緊急事態宣言を受け、のんほいパークは休園になりました。世界でSDGsが広まる中でのんほいパークが持続可能な未来設計図を作り、賑わいを取り戻すために、僕たちができることを考えました。



取組・活動 実施日

令和3年5月から9月まで

ゴール

11 8 9

解決したい地域の課題

コロナ禍の影響で、豊橋市の賑わいが失われつつあるので、にぎわいを取り戻すことを目標に、街の中心であるテーマパークののんほいパークをもっと魅力のある動物園にすることが必要だと考えました。

目指す将来の姿

パンダ誘致により他都市と肩を並べることができる全国でも名の通った都市。のんほいパークだけでなく豊橋市そのものが観光地でありパンダを見るためにのんほいパークを訪れた人が豊橋のあちこちで見ることができ、特に土日祝日にはしないを歩くだけで賑わいを感じられる町。

活動の内容

僕たちの班では、まず豊橋の賑わいについて話しました。その話し合いの中で、豊橋と言ったらのんほいパークなのではとみんなで万場一致し、そこで動物園を賑わすためにはどうしたらいいか調べました。他の動物園などの工夫した点などを考えたら、パンダの誘致が必要だと言う結果に行ったり、このような企画書を作ろうと思い作り始めました。様々なアンケートを実施し得た情報をもとに作り直しました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

米より麺派（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル カレーうどんしか勝たん

活動の動機

豊橋の名産品の具材の中に、地元で作られた農産物が含まれているかどうか、また、地元の名産品を提供している所は、どのようにPRしているか、さらに、地元をもっと盛り上げるために、取り組もうと思ったため。



取組・活動 実施日

令和3年9月10日

ゴール

2 8 9

解決したい地域の課題

豊橋の人が、名産品を日常で食べていない事だと考えました。そこで豊橋カレーうどんを取り上げてより身近に感じてもらおうと思いました。この活動を機に豊橋カレーうどんがより豊橋の人に広まるといいなと思います。

目指す将来の姿

地元の名産品を提供したり、イベントを行い、地域の人々で世代を問わず交流を、深めていく中で、カレーうどんに興味を持ってもらい、地元の人々はもちろん、全国の人々にもカレーうどんを知ってもらい、地元の名産品から全国の名産品へと進歩させること。

活動の内容

豊橋の名産品であるカレーうどんを提供している店に電話をして、「どんな人に食べてもらいたいのか」、また「はたらきがい」、「カレーうどんの中の具に地元で作られたものが入っているか」、さらに「カレーうどんを知ってもらうためにどのような取り組みをしているのか」という4つの質問をしました。これらの事をふまえて、自分たちなりに地元をより盛り上げるためにどのようなことをするべきかを考えました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

広島東洋チョコレート（5人）

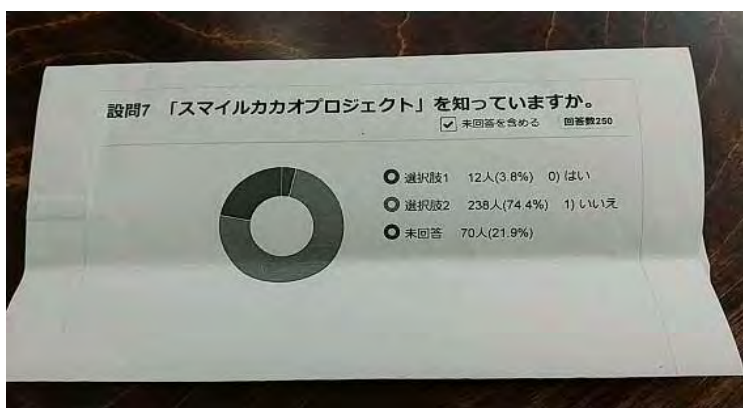
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル スマイルカカオプロジェクト

活動の動機

私たちは学校の総合の時間にSDGsについて考える機会があり、目指すべきまちづくりの基本計画や地域の課題をインターネットで調べていくうちに、豊橋の産業に疑問を抱き、産業をテーマに活動することにした。



取組・活動 実施日

令和3年6月2日～10月6日

ゴール

2 9 10

解決したい地域の課題

豊橋市がおみやげが少ないことが問題となっている。その中で僕たちは、豊橋で有名なブラックサンダーについて調べた。これはアフリカの人々を援助する事業に関わっているので、僕たちもこの事業を推奨したい。

目指す将来の姿

豊橋のおみやげが少ない現状から、豊橋が発祥の地であるブラックサンダーの知名度を上げ、全国から人が買いに集まるような町を目指す。そこからさらに、ブラックサンダーの事業が取り組んでいる、スマイルカカオプロジェクトを宣伝し、たくさんの人に知ってもらうことで、SDGsの活動について貢献する。

活動の内容

私たちはSDGsの活動で、豊橋市の産業について調べた。産業についてインターネットで調べていると、日本に輸入されているカカオ豆の約7割がガーナであることを知り、そこでブラックサンダーを使って、スマイルカカオプロジェクトという企画が、行われていることにたどり着いた。校内でアンケートを行ったところ、この企画を認知している人は、約3%ほどであり、多くの人に知ってもらおうと活動した。